

STEP

1

# 使う前に各部を点検してください



## 正しく安全に使うために調理前にご確認ください。

各部の点検を怠ると、圧力がかからない、または目詰まりをおこして内部の圧力が異常に高くなってしまふなどのトラブルにつながる危険があります。毎回必ず点検をおこなってください。なお、初めてお使いの場合や、長期間使用しなかった場合は、各部を点検後、実際に調理をはじめる前に、水を3cm程入れて加圧し、動作を確認してください。

### ● センターバルブ

- 1 セーフティカバーをはずし、バルブソケットの穴に付着物が詰まっていないかどうかを確認してください。
- 2 圧力表示ピンとバルブキャップが緩んでいないかを確認します。  
 ▲もし圧力表示ピンが緩んでいたら必ずドライバーでしめ直してください。
- 3 バルブキャップを指で引き上げ、ひっかかりがなくスムーズに動くかどうかを確認してください。



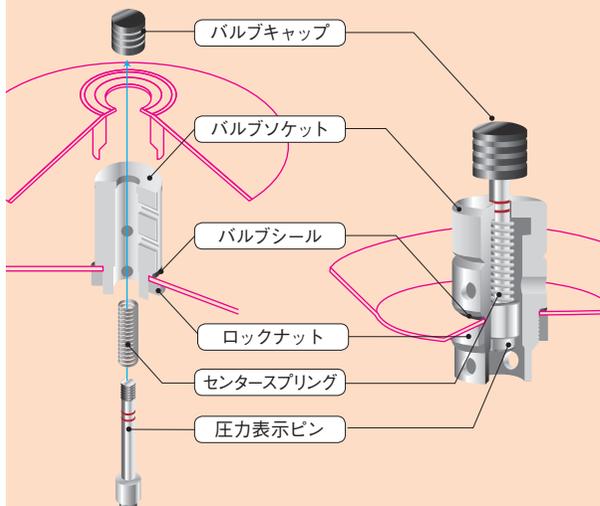
### ● 安全弁

- 1 フタの裏側から安全弁を指で押して動くかどうかを確認してください。



- 2 目詰まりや付着物などはないかを確認してください。(安全弁が汚れている場合は、フタの裏側から安全弁を押しながら水を流してください。)

## 〈圧力表示ピン〉



▲ バルブソケット・ロックナットは取り外さないでください。

### 取り外し方

バルブキャップを手で押さえ、フタの裏側から圧力表示ピンをドライバーなどで回して圧力表示ピンからバルブキャップを取り外してください。



### 組み立て方

- 1 元のように組み立てるときには、圧力表示ピンにセンタースプリングをセットして、再びドライバーなどでしめてください。
- 2 このときバルブキャップがしっかりと圧力表示ピンに取り付けられているかを確認してください。
- 3 組み終えたら、上記3の通りスムーズに動くのかも確認してください。



## ● ゴムパッキング

- 1 亀裂がないか、劣化していないかを確認してください。  
※ゴムパッキングはご使用により劣化します。耐久年数は使用頻度により異なりますが、1年に1度を目安に新しいものと交換してください。
- 2 フタ内側が汚れていないか確認し、フチに沿うようにセットしてください。
- 3 フタのフチにある三角形の突起物と安全ロックスライダーの下にゴムパッキングをセットしてください。



## ● 安全ロックピン

- 1 安全ロックピン用オーリングが正しい位置に装着されているかどうかを確認してください。
- 2 フタの裏側から安全ロックピンを押し上げて動かすかどうかを確認してください。



## ● スライドボタン

写真の状態(フタ裏の安全ロックピンが下がった状態)でスライドボタンがスムーズに動くかどうか確認してください。



## ● ハンドル

鍋本体のハンドルとフタのハンドルにガタつきがないかどうかを確認してください。もし緩んでいたら、必ずドライバーでしめ直してからご使用ください。



## ご購入後、初めてお使いになる時は…。

- 1 圧力鍋本体、フタ、その他各部品などに亀裂、破損などの異常がないことをご確認ください。

▲ 万一不具合があった場合には、ご使用にならず販売店または弊社までご連絡ください。

※セーフティカバーとゴムパッキングは外して点検してください。



セーフティカバーの片側に指を入れ、ななめに持ち上げて外します。

- 2 お酢2~3滴と中性洗剤で製品についている油やゴミをよく洗い流してください。油が残ったまま火にかけますと油が鍋に付着して黄色く変色し、取れにくくなります。ステンレスの光沢をきれいに保つため柔らかいスポンジで洗ってください。



- 3 ご使用に慣れていただくため、フタの開閉の練習をしてください。(10ページ、14ページ参照)

- 4 7・8ページをよく読んで各部を点検後、水を3cm程入れて加圧し、動作を確認してください。